

第5回東北シニアカーリング選手権大会

(第14回 日本シニアカーリング選手権大会東北ブロック代表選考会)

開 催 要 項

- 主 催 東北ブロックカーリング協議会
- 主 管 青森県カーリング協会
- 日 程 平成28年10月29日(土)～10月30日(日)
- 会 場 みちぎんどリームスタジアム(青森市スポーツ会館)カーリングホール
青森市合浦1-13-1 TEL:017(765)6200
- 参加資格 本年度の(公社)日本カーリング協会登録競技者で、本年6月30日現在で50歳以上の選手によって編成されたチームであること。
コーチは「日本体育協会公認指導員」以上の資格を有する必要がある。
- 参加チーム 男子:6チーム(青森県4チーム、岩手県2チーム)
女子:5チーム(青森県3チーム、岩手県1チーム、福島県1チーム)
- 参加料 1チーム10,000円
- 参加申込 平成28年9月20日(火) 受付終了済
- 競技規則 最新版の(公社)日本カーリング協会競技規則、及び本大会が定める規則による。
- 競技方法 ①男子は8エンドによる予選リーグ戦と決勝トーナメント、女子は、6エンドによるリーグ戦で実施。タイブレークは6エンドとする。
②チーム番号は、男女ともチームミーティング時に抽選で決定する。
- 表 彰 男女とも上位3位チームまで表彰状を授与する。男子優勝と準優勝の2チーム、女子優勝チームには第14回日本シニアカーリング選手権大会へ東北ブロック代表としての出場権利を与える。

大会スタッフ

大会長	浪岡 正行	(東北ブロックカーリング協議会会長)
実行委員長	佐藤 健一	(青森県カーリング協会会長)
審判長	藤村 正貴	(青森県カーリング協会・B級審判員)
チーフアイスマン	中島 潤	(青森県カーリング協会)
サブアイスマン	山下 知恵理	(青森県カーリング協会)

- 事務局 青森市堤町2-1-1 株式会社 協同内
青森県カーリング協会 事務局長 日下 稔
TEL 017-777-4191

予選リーグ組合わせ表

男子Aブロック

No.	チーム名	①	②	③	勝	負	DSC	順位
①								
②								
③								

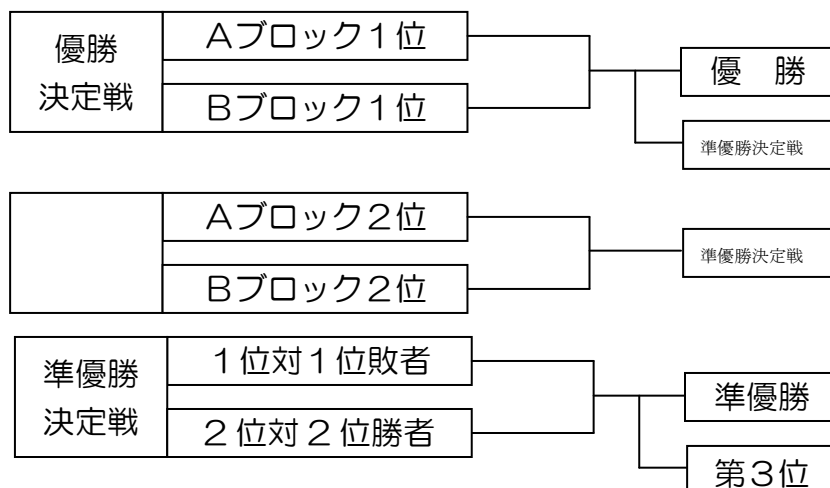
男子Bブロック

No.	チーム名	④	⑤	⑥	勝	負	DSC	順位
④								
⑤								
⑥								

女子ブロック

No.	チーム名	①	②	③	④	⑤	勝	負	DSC	順位
①										
②										
③										
④										
⑤										

男子決勝トーナメント



選手名簿

男子の部

チーム岩手	
スキップ	浪岡 正行
サード	木村 拓司
セカンド	鈴木 彰
リード	中田 勇司
リザーブ	阿部 義行
コーチ	

チーム盛岡	
スキップ	川村 文明
サード	佐藤 誠
セカンド	柴田 理
リード	阿部 浩康
リザーブ	高橋 強
コーチ	

AOMORI	
スキップ	加藤 信行
サード	石田 順一
セカンド	角田 恵司
リード	山田 正樹
リザーブ	三上 繁広
コーチ	

チームデフ青森	
スキップ	荒谷 淳一
サード	田中 尚伸
セカンド	松尾 次郎
リード	宮本 忠司
リザーブ	
コーチ	

あおもり爺吹雪	
スキップ	長谷川 紘
サード	藤村 和人
セカンド	廣田 茂樹
リード	相馬 聡
リザーブ	對馬 光雄
コーチ	

チーム無限シニア	
スキップ	船木 一人
サード	小野寺 剛
セカンド	蒔苗 新一
リード	當麻 雅令
リザーブ	鳴海 満
コーチ	

女子の部

チームこおりやま	
スキップ	藤澤 純子
サード	齊藤 智子
セカンド	渡邊 サユリ
リード	鈴木 優子
リザーブ	
コーチ	

チーム岩手	
スキップ	木村 美喜子
サード	山内 ミツ
セカンド	中田 美保子
リード	新毛 久美子
リザーブ	小守林 恵
コーチ	澤田 由季子

ブルーベリー	
スキップ	船橋 恵子
サード	鶴岡 真理子
セカンド	葛西 和子
リード	柳谷 ひろみ
リザーブ	
コーチ	

チームG・G	
スキップ	西野 きよ
サード	福士 洋子
セカンド	三上 ゆかり
リード	成田 恵子
リザーブ	奥崎 弘美
コーチ	

aomori	
スキップ	船木 志津子
サード	横内 艶子
セカンド	元木 恵子
リード	濱舘 千鶴子
リザーブ	工藤 安祈子
コーチ	

審判長通知事項

チームミーティングは、10月29日(土)7時40分から、みちぎんどリームスタジアム2階観覧席で行う。

チームNo. は、チームミーティング時に、抽選で決定する。

1. 競技方法

本大会は、以下の競技方法で行う。

(1) 男子は、2ブロックに分け、8エンドによる予選リーグ戦と決勝トーナメントで実施。最終エンド終了時点で同点の場合は、エキストラエンドを行う。なおタイブレークは6エンドとする。

①予選リーグでは勝数の多い順に順位を決定する。勝数が同数の場合は DSC の結果でランク付をする。必要に応じてタイブレークをする。

②決勝トーナメントでは、Aブロック1位対Bブロック1位が対戦し、勝者が優勝。敗者は準優勝決定戦に進む。

③ Aブロックの2位対Bブロックの2位が対戦し、勝者が準優勝決定戦に進む。

④ 準優勝決定戦の勝者が準優勝、敗者が3位となる。

(2) 女子は、6エンドによる総当たりリーグ戦を実施。最終エンド終了時に同点の場合、速やかにエキストラエンドを行ない、勝敗を決定する。

①各ゲームの結果により、勝数の多い順に順位を決定する。

②勝数が同数の場合は、DSC (LSDの最も悪い記録を除いた平均距離)の結果でランク付をする。

③上位2チームの勝数が同数の場合には、8エンドによる優勝決定戦を行う。

2. 用具(ストーン)

ホグラインセンサー付きのストーンを使用する。

3. 試合前練習とストーンの割り当て

(1) 男子予選ラウンドロビン及び、女子リーグ戦の試合前練習の順序・ストーンの色は、大会スケジュールの上のチームが赤ストーンで先練習、下のチームが黄ストーンで後練習とする。

(2)男子予選ラウンド後の試合、及び女子優勝決定戦では、DSCの短いチームが1エンドの先攻・後攻もしくはストーンの色を選択する。後攻を選択したチームが、先に試合前練習をする。

(3) 試合前に各チームは4分間の練習を行う。

4. LSD、ラストストーンの扱い

- (1) 練習終了後、すみやかにLSDを実施する。
- (2) 2投のLSDのうち、1投目を時計回り、2投目を反時計回りで実施。この2投のLSDは、別の選手が行う。

LSD2投の合計がより短い距離のチームは1エンドの先攻・後攻もしくはストーンの色を選択する。

距離が等しい場合はコイントスあるいはジャンケンを行い決定する。

本大会の各プレーヤーのLSD投球回数は男子は1回、女子は2回(時計回り1回、反時計回り1回)とする。

5. 計時

本大会は計時を行なわないが、目安として試合前の4分間練習、および試合開始から100分の時間を会場に設置のタイマーで表示する。速やかな試合進行に努めること。

6. チームタイムアウト

本大会は、チームタイムアウトは無しとする。

7. ユニフォーム

JCA競技者ウェア規定は、適用しない。

8. その他

- (1) 審判員は配置しない。計測、ホッグラインオーバーを含め、すべてセルフジャッジとする。

なお、各ラウンドに競技進行担当者を配置する。

- (2) 試合終了後のシート清掃は勝利チームが行う。
- (3) アイスメイクは、アイスマンの判断で行う。
- (4) コーチ席には、リザーブ、コーチ、チーム関係者のうち 2名まで座ることが出来る。
- (5) その他、判定や試合に関する事項には、審判長が対応する。

審判長 藤村 正貴